

研 修 区 分 表

科 目 と 項 目	研修時間数			講師 (通信の場合は添削担当講師)
	計	通信 相当分	通学	
1 職務の理解 (6 時間)				
① 多様なサービスの理解	3		3	反田 暁洋
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3		3	萩原 身和
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (9 時間)				
① 人権と尊厳を支える介護	6	4.5	1.5	萩原 身和
② 自立に向けた介護	3	3		赤羽 真子
3 介護の基本 (6 時間)				
① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	1.5	1.5		反田 暁洋
② 介護職の職業倫理	1.5		1.5	萩原 身和
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5	1.5		反田 暁洋
④ 介護職の安全	1.5		1.5	萩原 身和
4 介護・福祉サービスの理解と医療の連携 (9 時間)				
① 介護保険制度	6	6		反田 暁洋
② 医療との連携とリハビリテーション	1.5		1.5	萩原 身和
③ 障害者総合支援制度及びその他制度	1	1		反田 暁洋
④ その他の制度	0.5	0.5		反田 暁洋
5 介護におけるコミュニケーション技術 (6 時間)				
① 介護におけるコミュニケーション	3	3		反田 暁洋
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3		3	萩原 身和
6 老化の理解 (6 時間)				
① 老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	3		反田 暁洋
② 高齢者と健康	3		3	萩原 身和
7 認知症の理解 (6 時間)				
① 認知症を取り巻く状況	1	1		萩原 身和
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	2		萩原 身和
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2		2	萩原 身和
④ 家族への支援	1		1	萩原 身和
8 障害の理解 (3 時間)				
① 障害の基礎的理解	0.5		0.5	萩原 身和
② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	2	1	1	萩原 身和
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	0.5	0.5		赤羽 真子
9 こころとからだのしくみと生活支援技術 (75 時間)				
① 介護の基本的な考え方	2	2		反田 暁洋
② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	5	5		反田 暁洋
③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	5		赤羽 真子
④ 生活と家事	6		6	萩原 身和
⑤ 快適な居住環境整備と介護	3		3	萩原 身和

⑥ 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6		6	赤羽 真子 (萩原 身和 反田 暁洋)
⑦ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	12		12	萩原 身和 (赤羽 真子 反田 暁洋)
⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6		6	赤羽 真子 (萩原 身和 反田 暁洋)
⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6		6	萩原 身和 (赤羽 真子 反田 暁洋)
⑩ 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6		6	赤羽 真子 (萩原 身和 反田 暁洋)
⑪ 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4.5		4.5	萩原 身和 (赤羽 真子 反田 暁洋)
⑫ 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	1.5		1.5	萩原 身和
⑬ 介護過程の基礎的理解	2		2	萩原 身和
⑭ 総合生活支援技術演習	10		10	萩原 身和
10 振り返り (4 時間)				
① 振り返り	2		2	萩原 身和
② 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2		2	萩原 身和
計	130	40.5	89.5	
○ 修了評価 (1 時間)				

通学分日程表

区分	研修日	時間	時間数	項目	講義内容・演習の実施方法	講師	会場
講義・演習	4月10日（月）	13：40～14：00		開講式・オリエンテーション	受講に関する注意事項を説明	研修責任者 田口 貴之	大原学園甲府校1001教室・介護実習室
		14：00～15：30 15：40～17：10	3	1①多様なサービスの理解	介護保険サービス、介護保険外サービスについての講義を行う。	介護支援専門員 （介護福祉士） 反田 暁洋	
	4月11日（火）	13：40～15：10 15：20～16：50	3	1②介護職の仕事内容や働く現場の理解	多様な働く現場における仕事内容の理解、ケアプランから始まる一連の業務の流れとチームアプローチ、社会資源との連携について講義を行い、サービス提供現場を具体的にイメージするために視聴覚教材を活用した演習を行う。	看護師 萩原 身和	
	4月13日（木）	13：40～15：10	1.5	2①人権と尊厳を支える介護	高齢者の養護者支援の観点から、身体拘束禁止・高齢者虐待防止法等の法制度について学習する。	看護師 萩原 身和	
		15：20～16：50	1.5	3②介護職の職業倫理	専門職としての倫理の意義、介護の倫理（介護福祉士の倫理と介護福祉士制度等）、介護職としての社会的責任を理解する。	看護師 萩原 身和	
	4月14日（金）	13：40～15：10	1.5	3④介護職の安全	介護職の健康管理が介護の質に影響することを理解する。ストレスマネジメントについても学習する。	看護師 萩原 身和	
		15：20～16：50	1.5	4②医療との連携とリハビリテーション	医療と介護の役割とその連携について理解する。医療職種の連携、訪問看護サービスの成り立ちや施設における看護と介護の役割・連携について学習する。	看護師 萩原 身和	

4月17日（月）	13：40～15：10 15：20～16：50	3	5②介護におけるチームのコミュニケーション	チームアプローチの形態とその連携について理解する。介護における記録の意義と目的（利用者の状態を踏まえた観察）について学ぶ、記録の種類、個別援助計画書（訪問通所・入所・福祉用具貸与等）の内容を理解する。ヒヤリハット、事故報告書についてのちがいや記入方法を理解する。5W1Hを理解する。報告連絡相談の必要性を理解する。	看護師 萩原 身和
4月18日（火）	13：40～15：10 15：20～16：50	3	6②高齢者と健康	身体的・精神的機能の変化と病気・日常生活への影響を理解する。骨折・筋力低下と動き・姿勢の変化を理解する。関節痛など症状を観察して変化について理解する。	看護師 萩原 身和
4月20日（木）	13：40～15：40	2	7③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	認知症の中核症状・認知症の行動・心理症状（BPSD）について学ぶ。	看護師 萩原 身和
	15：50～16：50	1	7④家族への支援	家族介護の負担感やその要因を理解する。認知症の受容過程での援助を理解する。家族介護者が在宅でできることと社会サービスの有効利用について理解する。ストレスについて列挙する。	
4月21日（金）	13：40～14：10	0.5	8①障害の基礎的理解	障がいの構造・障がいの受容について理解を深める。	看護師 萩原 身和
	14：10～15：10	1	8②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	各障がいの内容、特徴および障害に応じた社会支援の考えについて理解を深める。	
4月24日（月）	13：40～15：10 15：20～16：50	3	9⑤快適な居住環境整備と介護	快適な居住環境に関する基礎知識や高齢者特有の居住空間について学ぶ。	看護師 萩原 身和

4月25日（火）	13：40～15：10 15：20～16：50	3	9④生活と家事	家事支援の必要性とその目的を学び、利用者との信頼関係の構築と秘密保持の重要性を理解する。生活歴を理解し、利用者に合わせた自立支援の重要性を学ぶ。	看護師 萩原 身和
4月27日（木）	13：40～15：10 15：20～16：50	3			
4月28日（金）	13：40～15：10 15：20～16：50	3	9⑩睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	睡眠に関する基礎知識を学習する。安眠に対する介護の工夫について寝具の整える方法や関連したところとからだのしくみと衛生管理について理解する。安楽な姿勢や・褥瘡予防について演習する。 ベッドメイキングの手順、方法を演習する。	看護師 萩原 身和 補助講師 介護福祉士 赤羽 真子 反田 暁洋
5月8日（月）	13：40～15：10	1.5			
	15：20～16：50	1.5	9⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	末期ケアの定義、高齢者の死に至る定義、その終末が近づいた時の兆候と介護について理解する。チームケアとして、他職種との連携を深める重要性を理解し、介護従事者の基本的態度を学ぶ。	看護師 萩原 身和
5月9日（火）	13：40～15：10 15：20～16：50	3	9⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	身体清潔の具体例について演習する。整容（目、鼻、耳、爪切り）など洗面の意義についても学習する。身体状況に合わせた衣類の選択、着脱介助を学習する。	介護福祉士 赤羽 真子 補助講師 看護師 萩原 身和 介護福祉士 反田 暁洋
5月11日（木）	13：40～15：10 15：20～16：50	3			
5月12日（金）	13：40～15：10 15：20～16：50	3	9⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	体位・姿勢の確保について、利用者と介助者の安全で安楽な方法、起き上がり動作（ボディメカニズム）について演習する。体位（立位、座位、臥床時）それぞれで学習する。車いす使用による移動介助（外出時）段差ごえ、スロープ（坂道）の介助（全介助を含む）を演習する。肢体不自由者の歩行介助（杖の種類や、杖の位置）介助時の介護者の介助姿勢を演習する。	看護師 萩原 身和 補助講師 介護福祉士 赤羽 真子 反田 暁洋
5月15日（月）	13：40～15：10 15：20～16：50	3			

5月16日（火）	13：40～15：10 15：20～16：50	3	9⑦移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	杖による（2点、3点歩行など）白杖使用して、歩行（狭路を含めて）介助を演習する。ベッドから車いすの移乗（車いすの設置場所）移乗ボード使用による移乗動作介助を演習する。	看護師 萩原 身和 補助講師 介護福祉士 赤羽 真子 反田 暁洋
5月18日（木）	13：40～15：10 15：20～16：50	3	9⑧食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	食事のもつ意義や嚥下のメカニズムや食生活の仕組みについて学習する。食事介助のポイント（覚醒状態の確認、姿勢の確保）を臥床時、座位姿勢にて（食事介助、吸い飲みにて）演習する。	介護福祉士 赤羽 真子 補助講師 看護師 萩原 身和 介護福祉士 反田 暁洋
5月19日（金）	13：40～15：10 15：20～16：50	3	9⑨入浴、清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	入浴のもつ意味や、入浴清潔に関連知識を理解する。入浴前のバイタルの定義を学び、演習する。入浴手順（使用物品の確認）を理解し、障害別、入浴の環境（片麻痺で）個浴に入る移動動作や（手すり、入浴いす、シャワーボード、踏み台の位置）介護者の介助方法を演習。全身清拭の方法を演習。	看護師 萩原 身和 補助講師 介護福祉士 赤羽 真子 反田 暁洋
5月22日（月）	13：40～15：10 15：20～16：50	3	9⑩排泄に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	排せつのもつ意味と仕組み、排泄交換時のプライバシーの保持についての重要性を理解する。排せつ行動のアセスメントを学習する。車いすからのトイレ、ベッドからポータブルトイレへの移乗動作を演習する。尿器、さしこみ便器の使用についても演習する。おむつの種類やその使用方法についてまた、おむつ交換の手順についても演習する。	介護福祉士 赤羽 真子 補助講師 看護師 萩原 身和 介護福祉士 反田 暁洋
5月23日（火）	13：40～15：10 15：20～16：50	3	9⑪介護過程の基礎的理解	介護過程の目的・意義の理解を深めて介護過程とチームアプローチについて学習（介護計画の立案・評価）をすすめる。	看護師 萩原 身和
5月25日（木）	13：40～15：10 15：20～16：50	3			
5月26日（金）	13：40～15：10 15：20～16：50	3			
5月29日（月）	13：40～15：10 15：20～16：50	3			
5月30日（火）	13：40～14：40 14：50～15：50	2			

6月1日（木）	13：40～15：10 15：20～16：50 17：00～18：00	4	9⑭総合生活支援 技術演習	事例による展開 生活場面で の介護について、その状態像と 支援を提供する流れの理解と 技術の習得、利用者の心身の状 況にあわせた介護を提供する 視点の習得を目指す。	看護師 萩原 身和
6月2日（金）	13：40～15：10 15：20～16：50	3	9⑭総合生活支援 技術演習	事例検討→支援技術の課題（1 事例1. 5時間程度）で演習す る。事例は高齢者分野（2事例 ） 障害分野（2事例）を取り 入れる。	看護師 萩原 身和
6月5日（月）	13：40～15：10 15：20～16：50	3			
6月6日（火）	13：40～14：40 14：50～15：50	2	10①振り返り	学習到達度チェック 根拠に基づく介護の要点につ いて講義を行い、研修を通じて 学んだ事、今後継続して学べ きことをグループワークで振 り返る。	看護師 萩原 身和
6月8日（木）	13：40～14：40 14：50～15：50	2	10②就業への 備えと研修修了後 における継続的な 研修	講義にて働く現場における継 続的学習等を行い、演習にてキ ャリアパスやOJT等の理解 を深める。	看護師 萩原 身和
合 計		89.5			
修了評価 6月8日（木） 16：00～17：00		1	修了評価	大原学園 甲府校 1001教室	

通信分日程表（添削課題提出予定表）

研修期間：2023年 4月 10日 ～ 2023年 6月 8日

提出回	科目・項目	提出期限
第1回	介護における尊厳の保持・自立支援	2023年 4月 21日
	介護の基本	
第2回	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	2023年 5月 8日
	介護におけるコミュニケーション技術	
	老化の理解	
第3回	認知症の理解	2023年 5月 19日
	障害の理解	
第4回	こころとからだのしくみと生活支援技術	2023年 5月 26日